

さくらば節子市政報告

平成29年度 第2号

8/29

市議会議員全員で、高田公園オーレンプラザと隣接の陸上競技場を視察



6/23

市議を目指しやすい環境整備検討委員で市民の皆さんと意見交換会を開催
ホワイトボードミーティングで意見抽出



9/30

「外国人居住者と上越市議会議員の意見交換会」で参加者の皆さんと活発に語り合う



ごあいさつ

市民の皆さま、初秋のころとなりましたが、お元気でお暮らしですか。

再び市政報告を皆様にお届けできますことを、たいへんありがたく思います。

さて、政治的には大きな動きのある2017年となりました。これからの国の在り方と上越市の在り方を左右する重要な選挙となりますので、熟慮の上で皆さんの貴重な一票を投じてくださいますようお願いいたします。また私達の毎日の生活を良くしていくためには、選挙の後もすべてを行政任せにしないで、いろいろなことに興味を持って、意見を述べたり、提案をしたりすることが大切ではないでしょうか。上越市では地域協議会という仕組みを作って、皆様のいろいろな意見や提案を吸い上げる準備をしています。また、私ども議員を通して提案を実現していくこともできるでしょう。生活環境や学校、観光や産業について、皆様の建設的なご意見をぜひお聞かせください。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

1. 今期の活動記録



5月：高尾お茶のみ散歩

牧区高尾地域で初めての試みが始まりました。田舎のゆったりしたたずまいの中で、美味しいお茶とお茶請けをいただきながら過ごす至福の時間を求めて市内外からお客様が訪れます。月一回の開催ですが以後順調に客足が増え続けています。



6月：さくらば節子市政報告会(春日謙信交流館)

地域協議会委員の女性を招待、「女性が地域活動し、声を出していくことの意義」を考えました。約50人の皆さんが熱く意見交換してくださいました。



8月：全国議員勉強会(滋賀県)に参加

子供の貧困・認知症・災害関連死・地域包括ケア等について学びました。今まさに現場で起きている題材ばかりでしたので、大変役に立つ学習会でした。



8月：燕市の英語教育を視察

「Jack & Betty Project」という名のもと、燕市が取り組んでいる英語教育を視察しました。日本人英語指導助手を最大限活用した素晴らしい取り組みにとっても感動しました。9月議会一般質問で上越市にも取り組んでいただきたい内容を提案しました。

2. 私の一般質問

6月議会（6/12）

●人口減少時代の学校運営について

全国的な人口減少の中、当市のいくつかの学校区では、児童・生徒数が激減しています。父兄の中には、今後の小・中学校の在り方に関して不安を抱えておられる方も少なくないことから以下の質問をしました。

櫻庭：本市が取り組む小・中一貫教育にはやがて人口減少が進んで学校統合しなくてはならなくなった時に、小・中学校の校舎を統一して地域に学校を残そうという狙いもあるのか。

教育長：そのような狙いは全くなく、あくまでも子供たちがスムーズに進学していくためのツールとしてこの制度を活用している。

櫻庭：少人数の中学校で問題とされている点に「競争が少ないことで教育レベルが落ちないか」、また、「部活動が限定されてしまい、生徒の能力が育たないのではないか、豊かな学校生活が送れないのではないか」という点がある。この点をどう考えるか。

教育長：現場では少人数教育が学業に与える影響は、決して悪くないという統計が出ている。むしろ少人数校では一人に対し丁寧な指導ができるので、平均的に学力が高い。ただし部活に関しては、スポーツチームが作れない学校は中山間地域だけではなく、全市的にも多い。困っている学校と学校を連携させてチームを作っている場合もある。

櫻庭：保護者の中には、少人数になって教育への不安を抱える人も多い。その不安に今後どのように応えていくのか。

教育長：丁寧に説明をしながら、教育現場の状況を理解していただけるように努める。

9月議会（9/21）

●地方創生推進交付金の活用について

「こうした交付金を有効に使って上越市がどんな夢のある企画をしてくれるか」と、市民が期待していますが、実際に当市の来年度の方針がどうなっているかを尋ねました。

櫻庭：来年度の申請予定の事業案は何か。

市長：本年に引き続き、町家・伝統的建物の活用では、第四銀行跡や直江津銀行跡の改修をしていき、雪室活用を充実する。

櫻庭：上越版DMOの構築に向けた企画をこの交付金を用いて立てたらどうか。

市長：主体となる団体（企業・NPO）などが明確になっていないと申請できないので、現時点では当市から申請できない。事業主体をどうするかも含めて調査・検討している。

●小・中学校の英語教育について

忙しい小学校の担任が、指導法も確立されていない英語活動に教材作りから取り組むことは負担が大きい。上越市の英語教育環境をより整備するために以下の提案をしました。

櫻庭：日本人英語指導助手(JTE)には英語を習得するためのノウハウがあり、担任の先生をうまくサポートできる。また「子供たちには英語を通して視野を広げ、海外でも活躍して欲しい」という情熱を持って教えている。市内に住むJTEを小学校で活用できないか。

教育長：当市では外国人英語指導助手(ALT)を多数導入して良い英語活動を展開している。目標に概ね届いている結果なので更にJTEの導入は今考えていない。

櫻庭：小学校担任に英語教育に関して意識調査したか。結果何が課題だと分析したか。

教育長：先生方は今ではALTに随分慣れ、良い授業ができていると考える人が七割いる。不安を抱えた人もいるので研究していく。

櫻庭：七割も自信があるとは少し驚いた。では、残る三割のためにぜひJTEを雇ってほしい。燕市ではJTEが先生方と協力して素晴らしい英語の授業を実現している。ちなみに燕市ではJTEはALTの約半額で働いている。

教育長：検討する余地があると考えるので、現場の声を聴きながら対応したい。



3. 議会で話題になった事

果たして山頂毛

あれだけ議論し

寄付金を集めた謙信公の遺品取得に関して、現在話し合いが頓挫しているようです。詳しくは交渉中で話せないという事で、私も勝手なことを言うわけにはいきませんが、今になって持ち主の気持ちが変わってしまったのか、何がどうなっているのか、情報が錯綜していてわかりません。

とっつも

は上越市が取得できるのか

て市民フォーラムまで開催し

このままでは市民の気持ちも収まりませんね。何にしても、みんなの関心の高いこの刃に関しては、今後も議論していくつもりです。情報が入ったらまたお知らせします。



待望のオーレンプラザ開館

しかし、建設計画に多くの変更があって工事が長引き、携わった業者からはかなりの不満が出ている様子。公共施設建設にはよくある課題と言えるのでしょうか、あまりしこりを残してほしくありませんね。市民が長く愛して使える施設になって欲しいです。

新しい大潟体操アリーナの建設は妥当か、場所はどうか

これに関しては以下の点が市民の主な反対理由になっています。

- 建設費の膨張が尋常でない。財政難だと言っておきながら、これほど市民の税金を投入する意義があるのか。
- なぜ大潟区でなくてはならないのか。多くの市民が集まりやすい中心地、例えば運動公園に建てた方がいいのではないか。
- オリンピックが終わってしまったら、どう活用する気か。
- 市民の運動に活用すると言っているが、どう活用するのか。

建設の基本構想自体が大幅に変更され、大会開催地、合宿地としてかなりの規模と条件の整った施設にレベルアップされました。市はこの事業に合併特例債(市民負担は事業総額の5%と残った3割)を当て、有利な条件で建設しようとしています。

オリンピックや国際大会レベルのスポーツ選手を育成するための要は、整った施設と有能な指導者です。この地域は大潟町の時代から力のある体操指導者が多く集まって街づくりをしてきたので、指導者の層も厚い。当時のちびっ子たちは今コーチになって活躍して



います。すでに現アリーナでは収まりきれないほどの多くの子供たちや大学生、外国人選手が練習しています。新設アリーナには一般市民の体力増進のためのコースも企画されており、正しく活用されていくなれば、上越市にとってすばらしい財産と呼べる施設になるのではないのでしょうか。

さくらば節子 市政報告 平成29年度第1号

発行日：平成29年10月15日
発行：櫻庭節子
住所：〒943-0648
上越市牧区小川1590番地
電話・FAX：025-546-7835
電子メール：
office@sakuraba-setsuko.jp

公式サイトもご覧ください。
<http://さくらば節子.jp>
Facebookもやってます。

女性の声を市政に

さくらば節子市政報告会 予定

日時：10月23日(月)
13:30~15:30
場所：牧区原交流館 2階
上越市牧区原991番地

日時：10月28日(土)
14:00~16:00
場所：市民プラザ
第四会議室

日時：11月9日(木)
14:00~16:00
場所：ぴんころ庵
上越市岩木2202-4

*これ以外にも、お呼び下され
ばいつでも伺います*